

恒例のオープンキャンパス「公開ゼミ」

8月1日に行われた人文社会学部のオープンキャンパスは大盛況であった。型どおりの「大学説明会」の頃とは様変わりだ。オープンキャンパスとして、開かれた参加型のイベントを提案してきたこともあり、当初から「公開ゼミ」を開催してきた。山田ゼミ夏の恒例行事として定着してきたようだ。

今年は4年のゼミ生による斬新なデザインのポスターが話題を呼んだ。昨年から上手な絵のチラシを作ってもらっているが、今年はカラーでセンスの良いポスターも追加してくれた。ポスターのおかげもあり、午前と午後の2回で70名以上の受験生など



が参加してくれた。例年の午後は参加が少なく、手持ち無沙汰な時が多かったが、今年は午後の方がむしろ盛況だった。

ここ数年、公開ゼミのテーマは「まちづくりを考える」である。

ポスターを作ってくれた4年生が「くるま社会とまちづくり」と題した報告をして、通常のゼミのように



議論した。レジュメと報告がまとまっていたこともあり、海外の先進事例やくるま社会からの転換について活発な質疑を行った。「途中入退場自由」だが、退場者も少なくゼミが進んだ。公務員2次試験をまじかにしたゼミ生も参加してくれ、感謝するばかりだ。今年も後悔することなく公開ゼミを終えることができた。それと卒業生がわざわざ休暇をとって朝からきてくれたのも嬉しかった。

(2008年8月6日 記)